

## 平成 28 年度「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業評価等について

### 1 総合戦略における事業

「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少社会の進展に対応し、選ばれる魅力あるまちの構築に向けた計画として 2015（平成 27）年度に策定するとともに、位置付けた取組を進めてきたところである。人口については、計画策定時 270,783 人（平成 27 年 10 月 1 日現在）から、271,047 人（平成 28 年 10 月 1 日現在）であり、微増となっている。

計画の 2 年目となる 2016（平成 28）年度においては、総合戦略における事業 153 事業、具体的事業 249 事業を実施したところであり、実施した事業の評価及び検証した結果（事業評価）は以下のとおりである。引き続き、本事業評価を反映させながら、総合戦略を推進していくこととする。

### 2 評価の対象年度 2016（平成 28）年度

### 3 事業の実施状況

基本目標	具体的施策	総合戦略における事業数		具体的事業数
		計画	実施	
I 生き生きと働ける しごとを創る	(1) 地域経済をけん引する産業競争力の強化	9	9	13
	(2) 観光産業の振興，観光消費の拡大	17	17	29
	(3) 多用な雇用の場の創出	13	13	18
	(4) 女性や高齢者等の活躍支援	4	4	9
II 新たなひとの流れを 生み出す	(1) 水戸への移住・定住の推進	5	5	9
	(2) 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出	12	12	19
	(3) 水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進	9	9	12
	(4) 水と緑の潤いある拠点の形成	7	7	11
III 水戸の未来をリード する若い世代の夢や 希望を応援する	(1) 若い世代へのキャリア支援の推進	11	11	19
	(2) 安心して子どもを産み育てることのできる環境の充実	9	9	26
	(3) 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進	15	15	16
	(4) ワーク・ライフ・バランスの推進	3	3	9
IV 安全で安心，誰もが快 適に暮らせるまちを 創る	(1) 都市機能の集積と交通ネットワークの形成	11	11	14
	(2) 既存ストック（住宅等）の再生，利活用	5	5	10
	(3) 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進	15	15	24
	(4) 危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進	5	5	6
	(5) 自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上	3	3	5
	計	153	153	249

※複数の具体的施策で掲載された同一の事業（再掲の事業）についても、事業数としてカウントする。

#### 4 重要業績評価指標（KPI）の進捗

##### 〈基本目標Ⅰ 生き生きと働けるしごとを創る〉

数値目標	(基準値)		(目標値)
○市内事業所数	14,357 事業所	→	14,550 事業所
○市民所得	999,984 百万円	→	1,080,000 百万円

#### 具体的施策（1）地域経済をけん引する産業競争力の強化

##### 重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
マッチング会参加企業数（累計）	—	80社	44社	200社	22%
商店街活性化事業に取り組む団体数（年間）	10団体	12団体	12団体	15団体	40%

項目	達成度	評価
マッチング会参加企業数（累計）	B	金融機関等主催のビジネスマッチング会への参加や開催状況調査を行うなど、より効果的な支援策の検討を中心に進めた。マッチング会参加へのPR・支援策が十分であったとは言えず、今後、検討結果を踏まえたビジネスマッチング促進に資する取組を積極的に推進していく必要があるものと評価する。
商店街活性化事業に取り組む団体数（年間）	A	商店街の活力向上に向けた支援制度を活用し、商店街の活力やにぎわいを創出するための事業や広報宣伝、空き店舗対策事業などに取り組む団体が増加しており、商店街活性化に寄与することができたものと評価する。
2016（平成28）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業交流機会の創出</li> <li>技術力、競争力強化・支援</li> <li>商店街活性化の推進</li> <li>既存事業者の事業拡充等への支援</li> <li>6次産業化の推進</li> <li>農産物のブランド化の推進</li> <li>地産地消の推進</li> <li>優良農地の維持・保全</li> <li>住宅リフォームの促進</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「産業交流機会の創出」として、金融機関等主催のビジネスマッチング会への参加や開催状況調査等を実施するとともに、ビジネスマッチングを促進するための支援制度等の検討を行った。</li> <li>「商店街活性化の推進」として、商店街の活力やにぎわいを創出するための事業や広報宣伝、空き店舗対策事業などに取り組む団体に対し、補助金などによる支援を行った。</li> </ul>
		2017（平成29）年度以降の取組方針
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=9/9</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマッチング会については、金融機関を中心として年に数回開催されており、今後は、金融機関等と連携を図りながら、市内企業の参加を促進するとともに、新技術開発や販路拡大に向けた取組への効果的な支援制度を創設し、企業間におけるマッチングを促進する。また、産業活性化コーディネーターを活用し、既存企業の経営力強化に向けた取組を支援する。</li> <li>商店街活性化事業について、商店街のにぎわい創出に寄与するため、継続して実施することとするが、事業内容の恒常化が見られることから、より効果的な事業が実施されるよう補助金のあり方について検討する。</li> </ul>

具体的施策（２） 観光産業の振興，観光消費の拡大

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
梅まつり入込観光客数	522,800人	573,680人	587,300人	650,000人	51%
市内外国人宿泊者数（年間）	15,421人	16,680人	32,743人	18,400人	581%

項目	達成度	評価
梅まつり入込観光客数	A	積極的なPR活動や新たな体験型・コラボ型イベントの実施，各種メディアを活用した情報発信による成果として，梅まつり入込観光客数が東日本大震災後の最高値を記録し，誘客の効果があったものと評価する。
市内外国人宿泊者数（年間）	A	日本全体における外国人観光客が急増する中，訪日外国人向け観光PR映像・動画広告の配信，国際旅行博への参加，現地旅行会社への商談等のプロモーションにより，外国人宿泊者数の増加に効果があったものと評価する。
2016（平成28）年度取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進</li> <li>・弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進</li> <li>・ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進</li> <li>・森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進</li> <li>・まちなかイベントの開催</li> <li>・戦略的イベントの展開と各種まつりの充実</li> <li>・水戸の花絵巻事業の推進</li> <li>・回遊性を高める機能強化と魅力づくりの推進</li> <li>・広域連携による観光地づくりの推進</li> <li>・国際観光の推進</li> <li>・体験・交流型観光の充実</li> <li>・コンベンション誘致活動の推進・強化</li> <li>・観光特産品の魅力向上と観光産業の強化・育成</li> <li>・多様な情報発信の推進</li> <li>・戦略的な観光PR活動の推進</li> <li>・フィルムコミッションの充実</li> <li>・おもてなし力の向上</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦略的イベントの展開と各種まつりの充実」として，実施した梅まつりについて，梅の開花状況が昨年以上に早かったが，期間中は晴天に恵まれ，新たな体験イベント（ちびっこひなまつり，観梅着物 DAY），各種イベント（刀剣コラボ，梅酒まつり，夜梅祭等）を実施した。また，積極的なPR活動（市長トップセールス等）とともに，テレビ・ラジオ等の各種メディアの積極的な活用を行った。</li> <li>・「国際観光の推進」として，マーケティング調査をはじめ，観光案内板の多言語化や訪日外国人向け観光PR映像制作，動画広告等による情報発信，水戸観光コンベンション協会におけるエキスパート人材の登用，外国語版（繁体字）Facebook の開設，国際旅行博・商談会への参加（台湾，中国）など，インバウンド観光に資する取組を実施した。</li> </ul>
		2017（平成29）年度以降の取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅まつりをはじめとしたイベント開催は本市観光客誘致に大きな役割を果たすものであるため，継続実施するとともに，県と連携し，偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりを推進する。</li> <li>・マーケティング調査の結果を踏まえ，効果的な情報発信とともに，外国人観光客のさらなる受け入れ体制の充実を図る。また，昨年度訪問した旅行会社へ定期的に観光情報を提供するなど，関係性を深め，誘致を促進するとともに，茨城空港就航便を活用したプロモーションを行う。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b></p> <p>実施事業数/計画事業数=17/17</p>		

具体的施策（3） 多様な雇用の場の創出

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
創業支援事業計画推進事業等による新規創業件数（累計）	37件	102件	141件	200件	64%
企業誘致による立地事業所数（累計）	—	10事業所	9事業所	25事業所	36%

項目	達成度	評価
創業支援事業計画推進事業等による新規創業件数（累計）	A	新規創業件数が期待値に達しており、創業支援ネットワーク協議会の開催による情報の共有や、みと創業支援塾をはじめとする関係機関における創業セミナーの開催などが、効果につながったものと評価する。
企業誘致による立地事業所数（累計）	B	期待値には及ばなかったものの、企業誘致コーディネーターを配置し、企業立地の補助制度及び税の課税免除を活用した誘致活動を行った成果として、立地事業所数が増加しているものと評価する。
2016（平成28）年度を取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援の充実</li> <li>・店舗開業・出店の推進</li> <li>・企業誘致の促進</li> <li>・ベンチャービジネスの育成・支援</li> <li>・産学官連携による産業の活性化</li> <li>・UJIターンの促進</li> <li>・地元企業の雇用の促進</li> <li>・遊休不動産を活用したにぎわいづくりの推進</li> <li>・認定農業者等担い手の確保・育成</li> <li>・医療・福祉分野における人材の確保、雇用の促進</li> <li>▶産婦人科等の医師の確保</li> <li>▶看護師の確保</li> <li>▶介護従事者の確保</li> <li>▶保育士の確保</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「創業支援の充実」として、水戸商工会議所などの創業支援事業者との連携のもと、創業支援ネットワーク協議会、みと創業支援塾、関係機関における創業セミナーの開催などを行った。</li> <li>・「企業誘致の促進」として、市外からの移転立地等に向け、企業誘致コーディネーターを配置し、企業立地の補助制度及び税の課税免除の活用を図るとともに、誘致活動を実施した。</li> </ul>
		2017（平成29）年度以降の取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援事業者間で情報を共有することから、創業者へ切れ目のない支援を行うことができることから、本事業を継続して実施する。今後は、各関係機関における新たな支援の取り組みについて取りまとめを行うなど、より一層の連携を図る。</li> <li>・企業誘致については、経済の活性化、就業機会のさらなる拡充に寄与することから、事業を継続して実施することとするが、誘致先となる一定規模以上の工業用地が不足しているため、対応策を検討する。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=13/13</p>		

具体的施策（４） 女性や高齢者等の活躍支援

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
政策決定過程に参画する女性の割合 (審議会等女性委員割合)	31.2%	32.7%	32%	35%	21%
スキルアップセミナー参加者数 (年間)	40人	64人	25人	100人	-25%

項目	達成度	評価
政策決定過程に参画する女性の割合（審議会等女性委員割合）	B	審議会等に参画する女性委員の割合の向上に向け、「水戸市男女平等参画推進基本計画」、「水戸市附属機関の設置及び運営に関する指針」を基本に、全庁的な取組により、割合が向上しており、成果があったものと評価する。
スキルアップセミナー参加者数（年間）	D	スキルアップセミナーを開催したが、参加者数が減少していることから、今後、勤労者のニーズ等を踏まえた企画内容の充実を図る必要があるものと評価する。
2016（平成28）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の活躍推進に向けた環境づくり</li> <li>オープンデータ活用による女性の活躍の支援</li> <li>中高年齢者、若年者及び女性等の雇用の促進</li> <li>障害者の雇用の促進</li> </ul>	<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに設置する審議会等において、積極的な女性委員の登用を行うとともに、女性議会を開催し、政策形成における市民参加意識の醸成を図った。</li> <li>「女性の活躍推進に向けた環境づくり」として、女性起業家によるセミナー及び相談会、キャリアセミナー、事業所トップセミナー、女性活躍推進ガイドブック研修会などを実施した。</li> <li>「中高年齢者、若年者及び女性等の雇用の促進」として、スキルアップセミナーを開催するとともに、就労支援・事業情報発信サイトわーく・さいと・みとの運営などを通し、中小企業と就労希望者のマッチングの場を提供する取組などを実施した。</li> </ul>	
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数 = 4/4</p>		<p>2017（平成29）年度以降の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策決定過程への女性参画拡大及び女性の視点をまちづくりに反映させるため、女性議会を隔年で開催するとともに、引き続き、審議会等の女性委員の割合を高めるための全庁的な取組を推進する。</li> <li>中高年齢者、若年者及び女性等の勤労者のスキルアップにつながる事業であることから、パソコンスキル以外のセミナー企画の検討など内容を見直すとともに、効果的な情報発信を行うなど、より魅力ある内容への充実を図りながら、本事業を継続して実施する。また、女性の活躍推進に向けた環境づくりを計画的に実施する。</li> </ul>

**〈基本目標Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す〉**

数値目標	(基準値)		(目標値)
○社会増（人口動態）	88人	→	600人
○観光交流人口	3,426,000人	→	4,090,000人

具体的施策（１） 水戸への移住・定住の推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
中心市街地（都市核）の居住人口	17,297人	17,898人	17,091人	18,800人	-14%
まちなか住替え支援事業利用件数（累計）	—	112件	2件	280件	1%

項目	達成度	評価
中心市街地（都市核）の居住人口	D	まちなか住替えの支援や住生活支援情報の提供などを実施しているが、居住人口が減少していることから、要因を十分検証し、効果的に取り組んでいく必要があるものと評価する。
まちなか住替え支援事業利用件数（累計）	C	子育て世帯まちなか住替え支援事業を創設し、周知等を図ったところであるが、開始して間もないこともあり期待値には達しなかった。今後、一層の利用促進に向けた取組を進めていく必要があるものと評価する。
2016（平成28）年度を取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか住替えの支援</li> <li>・住宅リフォームの促進</li> <li>・住生活支援情報の提供</li> <li>・民間住宅活用型市営住宅の供給</li> <li>・まちなか共同住宅の整備の促進</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちなか住替えの支援」として、新たに子育て世帯まちなか住替え支援事業を創設し、2件の補助を実施した。また、「住生活支援情報の提供」として、住生活関連の講演会やJ T Iマイホーム借上げ制度の周知等を実施した。</li> <li>・「まちなか共同住宅の整備の促進」について、事業化に向けた制度設計を行い、平成29年度の事業者募集に向けての準備を進めた。</li> </ul>
		2017（平成29）年度以降を取組方針
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=5/5</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の居住人口の増加に向け、より実効性ある内容となるよう適宜見直しを行いながら、まちなか住替えの支援や住生活支援情報の提供などを継続して実施する。また、まちなか共同住宅整備事業について、平成29年度に事業者を募集し、平成30年度からの事業実施に向けた検討を進めるほか、民間事業者と連携し、まちなかライフスタイルの情報発信に努める。</li> </ul>

具体的施策（２） 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
大規模スポーツ大会（東日本大会以上）の開催数（年間）	9大会	10.6大会	10大会	13大会	25%
コンベンション誘致・支援数（年間）	57件	66件	125件	80件	300%

項目	達成度	評価
大規模スポーツ大会（東日本大会以上）の開催数（年間）	B	期待値には達しなかったものの、開催数は増えており、体育施設等の機能充実やコンベンション推進体制の強化による成果があったものと評価する。
コンベンション誘致・支援数（年間）	A	コンベンション担当の専任化を図るなどコンベンション推進体制を強化するとともに、戦略的な営業活動等を積極的に展開した成果があったものと評価する。
2016（平成28）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民主体の芸術文化活動の促進</li> <li>・水戸芸術館を中心としたまちなぎわいづくりの推進</li> <li>・水戸芸術館パートナーシップ制度の導入、推進</li> <li>・オセロの聖地・みと・発信プロジェクトの推進</li> <li>・水戸ならではのスポーツ大会の開催</li> <li>・水戸黄門漫遊マラソンの開催</li> <li>・第74回国民体育大会の開催に向けた取組の推進</li> <li>・コンベンション誘致活動の推進・強化</li> <li>・スポーツ施設・環境の充実</li> <li>・（仮称）東部公園の整備</li> <li>・新たな市民会館の整備</li> <li>・泉町1丁目北地区市街地再開発事業等の推進</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会については、市民がトップレベルの競技にふれることのできる機会の拡充に向け、国際・全国規模の大会やスポーツイベントの開催・誘致に取り組んだ。</li> <li>・「コンベンション誘致活動の推進・強化」として、事務分担の見直し、一部イベントの廃止・簡易化等を行うとともに、コンベンション担当者の専任化を推進する等業務体制の効率化を図り、KPI達成のための行動数値目標を設定し、県内主要団体の全てを訪問するなど、マーケティングの手法を導入した営業訪問等を積極的に実施した。</li> <li>・また、コンベンション開催支援をはじめ、MICE関係の専門研修への職員の積極的な派遣、キーパーソン招請事業の創設、資源調査の実施、大会・学会データベースの構築、コンベンションカレンダーの作成及び事務マニュアルの策定などを行った。</li> </ul>
		2017（平成29）年度以降の取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・類似都市規模の先進地コンベンション推進組織と比較し、団体や大会の情報数、市等関係機関との連携等ネットワーク構築、人材の育成及び助成金支援策などが課題となっているため、スポーツを含めたコンベンション誘致活動の拡充を図る。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=12/12</p>		

具体的施策（3） 水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値 (2016年度)	実績値 (2016年度)	目標値 (2019年度)	達成状況 (2016年度)
偕楽園の年間入込観光客数（年間）	958,213人 (2014年)	1,022,928人 (2016年)	994,443人 (2016年)	1,120,000人 (2019年)	22%
弘道館の年間入込観光客数（年間）	58,886人 (2014年)	79,332人 (2016年)	76,508人 (2016年)	110,000人 (2019年)	34%

項目	達成度	評価
偕楽園の年間入込観光客数（年間）	B	期待値には達しなかったものの、観光客数が増加しており、周辺エリアにおける多様なイベントの開催、効果的なPR活動を展開したことをはじめ、千波湖畔のライトアップ事業や自然や水辺環境を生かした偕楽園公園（千波公園等）整備を進めた成果があったものと評価する。
弘道館の年間入込観光客数（年間）	B	期待値には達しなかったものの、観光客数が増加しており、弘道館・水戸城周辺エリアにおける歴史まちづくりの推進による成果があったものと評価する。
2016（平成28）年度 of 取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進</li> <li>・弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進</li> <li>・ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進</li> <li>・世界遺産登録に向けた取組の推進</li> <li>・魅力ある景観の形成</li> <li>・偕楽園公園（千波公園等）の整備</li> <li>・偕楽園周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備等）</li> <li>・弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備等）</li> <li>・ロマンチックゾーン（保和苑）の整備</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進」、「偕楽園公園（千波公園等）の整備」として、桜まつり期間中の千波湖南岸のライトアップを行うとともに、園路や駐車場整備などを実施した。また、「偕楽園周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備等）」として、道路の美装化や無電柱化を行った。</li> <li>・「弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進」として、弘道館東側用地の整備等に向けた取組を実施するとともに、「弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備等）」として、道路の美装化や無電柱化を実施した。</li> <li>・「世界遺産登録に向けた取組の推進」として、近世日本の重要な教育遺産である弘道館や偕楽園の世界遺産登録に向けて、普及啓発事業を行うとともに、日本遺産の魅力発信を実施した。</li> </ul>
		2017（平成29）年度以降の取組方針
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=9/9</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜まつり期間中の千波湖南側におけるライトアップ等を継続して実施するとともに、水戸市偕楽園（千波公園等）整備基本計画に基づく事業を推進し、さらなる魅力向上を図る。</li> <li>・弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史・観光ロード整備、弘道館東側用地の整備等に向けた取組を継続して実施するとともに、日本遺産である偕楽園、弘道館等を一体的として、広く発信する。</li> </ul>



具体的施策（４） 水と緑の潤いある拠点の形成

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
森林公園来園者数（年間）	160,000人	179,200人	186,175人	208,000人	55%
七ツ洞公園来園者数（年間）	59,345人	68,007人	54,795人	81,000人	-21%

項目	達成度	評価
森林公園来園者数（年間）	A	来園者数が期待値に達しており、市民参加の植樹祭やりんご狩りツアー、学官連携による集客プロジェクト事業など、豊かな自然環境を生かしたイベントを積極的に展開した成果があったものと評価する。
七ツ洞公園来園者数（年間）	D	七ツ洞公園の魅力を生かしたイベント等を開催したほか、駐車場整備も進めたが、平時の来場者が少なく、来場者数が期待値には達しなかった。今後、一層の集客に向けた取組を進めていく必要があるものと評価する。
2016（平成28）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進</li> <li>・七ツ洞公園の魅力づくり</li> <li>・水戸の花絵巻事業の推進</li> <li>・魅力ある景観の形成</li> <li>・森林公園の整備</li> <li>・大塚池公園の整備</li> <li>・千波湖の水質浄化の推進</li> </ul>	<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進」として、市民参加の森づくり植樹祭や木葉下金山とりんご（梨）狩りツアー実施事業、農業体験及び農産物加工体験実施事業などを行うとともに、「森林公園の整備」として、樹木の間伐や園路整備等を実施した。</li> <li>・「七ツ洞公園の魅力づくり」として、英国式庭園を生かしたイベント等を開催し、魅力の発信に取り組むとともに、西側駐車場関連整備を実施した。</li> </ul>	
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数＝7/7</p>		<p><b>2017（平成29）年度以降の取組方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林公園周辺における市民参加の森づくり植樹祭や木葉下金山とりんご（梨）狩りツアー、農業体験及び農産物加工体験等とともに、樹木の間伐や園路整備などを継続して実施する。</li> <li>・七ツ洞公園については、引き続き、駐車場整備を進めるとともに、誘導案内標識整備等によりアクセス性の向上を図る。また、景観を阻害している未整備部分の庭園の整備を推進するとともに、英国式庭園を生かしたイベントやPR活動等の充実を図るなど、一層の魅力、認知度の向上に向けた取組を進める。</li> </ul>

**〈基本目標Ⅲ 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する〉**

**数値目標**

(基準値)

(目標値)

- 合計特殊出生率 1.51 → 1.60
- 保育所待機児童数 158人 → 待機児童ゼロ (2017年度)

**具体的施策(1) 若い世代へのキャリア支援の推進**

**重要業績評価指標 (KPI)**

項目	基準値 (2014年度)	期待値 (2016年度)	実績値 (2016年度)	目標値 (2019年度)	達成状況 (2016年度)
UJIターン企業説明会参加企業数(年間)	—	20	—	50	0%
地元企業セミナー参加者数(年間)	—	80	—	200	0%

項目	達成度	評価
UJIターン企業説明会参加企業数(年間)	D	茨城県との連携によるUJIターン促進事業の実施に向けた検討を中心に進めたことから、企業説明会は未開催となっており、今後、企業説明会の開催はもとより、検討結果を踏まえたUJIターンに資する取組を積極的に進めていく必要があるものと評価する。
地元企業セミナー参加者数(年間)	D	平成29年度以降の事業化に向けた検討を中心に進めたことから、企業セミナーは未開催となっており、今後、企業セミナーの開催はもとより、地元企業における雇用促進に資する取組を積極的に進めていく必要があるものと評価する。
2016(平成28)年度取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・UJIターンの促進</li> <li>・地元企業の雇用の促進</li> <li>・創業支援の充実</li> <li>・ベンチャービジネスの育成・支援</li> <li>・若年者及び女性等の雇用の促進</li> <li>・産学官連携による産業の活性化</li> <li>・女性の活躍推進に向けた環境づくり</li> <li>・認定農業者等担い手の確保・育成</li> <li>・ボランティア団体、NPO等の活動の活性化</li> <li>・困難を抱える若者への社会参加の促進</li> <li>・キャリア教育の推進</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「UJIターンの促進」として、県外の大学に進学した地元出身者等に対する企業説明会の開催など、県との連携事業の実施に向けた検討を行った。</li> <li>・「地元企業の雇用の促進」として、インターンシップの実施に取り組む企業の支援、市内中高生及び大学生等を対象とした体験型職業セミナーの開催など、人材の育成・確保に向けた検討を行った。</li> </ul>
		2017(平成29)年度以降取組方針
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=11/11</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・UJIターン企業説明会及び地元企業セミナーの実施に向けて、他市事例等の調査を進めるほか、高校や大学等と連携しながら、高校生・大学生向けに市内企業・事業所を紹介する冊子を作成・配付し、地元企業の情報発信に取り組む。</li> </ul>

具体的施策（２） 安心して子どもを産み育てることのできる環境の充実

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
市民センター子育て広場開設数（累計）	10か所	14か所	14か所	20か所	40%
開放学級における待機児童がいない学校数（累計）	24校	28校	18校	33校	-67%

項目	達成度	評価
市民センター子育て広場開設数（累計）	A	計画的な開設により，期待値に達する開設数に至ったものと評価する。
開放学級における待機児童がいない学校数（累計）	D	計画的な施設整備を進めたが，利用希望者の増加により，期待値に達しなかったため，引き続き，施設整備の推進とあわせ，支援員の確保を図っていく必要があるものと評価する。
2016（平成28）年度 of 取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所待機児童の解消</li> <li>・ 多様な子育て支援の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>↳ 交流の場の提供</li> <li>↳ 子育てニーズへのきめ細かな対応</li> <li>↳ ひとり親家庭等への支援の充実</li> </ul> </li> <li>・ 放課後児童対策の推進</li> <li>・ 妊産婦支援の充実</li> <li>・ 出産・子育てしやすい医療環境づくりの推進</li> <li>・ 結婚支援の推進</li> <li>・ オープンデータ活用による女性の活躍の推進</li> </ul>		<p>【主な事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「多様な子育て支援の推進」として，市民センター子育て広場を2か所開設し，地域団体の協力により，乳幼児と保護者同士が交流する居場所づくりを推進した。</li> <li>・ 「放課後児童対策の推進」として，開放学級における待機児童解消に向け，常磐小学校，笠原小学校及び内原小学校への開放学級施設を整備した。</li> </ul>
		2017（平成29）年度以降の取組方針
<p>【総合戦略における事業の実施割合】</p> <p>実施事業数/計画事業数 = 9/9</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児と保護者同士の交流の場を提供するため，引き続き，市民センター子育て広場を開設するとともに，利用者をさらに増やすために，周知・運営内容等の充実に努める。</li> <li>・ 開放学級について，待機児童を解消するため，計画的な施設整備及び支援員の確保を図る。</li> </ul>

具体的施策（3） 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
放課後学力サポート事業導入校数 (累計)	1校	6.6校	11校	15校	71%
学力診断のためのテスト(県)の総合 得点の平均点(対県平均との比較)	[小6]+1.9点 [中3]+12.5点	[小6]+3.5点	[小6]-2.0点	[小6]+6点	-95%
		[中3]+15.9点	[中3]+8.8点	[中3]+21点	-44%

項目	達成度	評価
放課後学力サポート事業導入校数(累計)	A	新たに学校支援ボランティア(教員OB)の活用を進めたことにより、期待値に達する導入校数に至ったものと評価する。
学力診断のためのテスト(県)の総合得点の平均点(対県平均との比較)	D	学力の向上を目指し、各事業を実施した結果、中学校3年生は県平均を上回ったが、小学校6年生は県平均を下回り、全体評価として期待値に達しなかった。引き続き、事業の充実を図りながら学力の向上に努めていく必要があるものと評価する。
2016(平成28)年度取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>水戸スタイルの教育の推進</li> <li>まごころプランの推進</li> <li>さきがけプランの推進</li> <li>ふれあいプランの推進</li> <li>体力向上プログラムの推進</li> <li>郷土水戸に関する教育の充実</li> <li>国際理解教育の推進</li> <li>芸術教育の推進</li> <li>情報教育の推進</li> <li>自然体験学習の充実</li> <li>児童生徒や保護者の悩み・不安解消のための相談の充実</li> <li>一人一人の教育ニーズに応じた特別支援教育の充実</li> <li>学校における食育の推進</li> <li>学校における消費者教育の推進</li> <li>大学等との連携による学校教育活動の推進</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「さきがけプランの推進(学力向上の推進)」として、全校に学力向上サポーターを配置するとともに、中学校1,2年生を対象に数学の補充指導を実施した。また、次世代エキスパート事業として、小学校6年生及び中学校1年生の希望者を対象に5つのコースで全7回の学習会を実施するとともに、リーフレットの小学校新入生全家庭への配布、モデル校11校における放課後学力サポート事業を実施した。さらに、新たな事業として、冬季休業中に中学校2,3年生の希望者を対象に4つのモデル地区で数学の学習相談を行った。</li> </ul>
		2017(平成29)年度以降取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後学力サポート事業を拡充し、小学校17校で実施する。</li> <li>小中学校ごとにより一層の学習状況の把握に努め、中学校区ごとに、それぞれの学校や教員の実態に応じた指導の充実を図る。さらに、「まごころプラン」や「さきがけプラン」の内容の充実を図り、小中学校が一体となった学習改善に努める。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b></p> <p>実施事業数/計画事業数=15/15</p>		

具体的施策（４） ワーク・ライフ・バランスの推進

重要業績評価指標（KPI）

項 目	基準値 (2014 年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016 年度)	(2016 年度)	(2019 年度)	(2016 年度)
ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民・事業所への研修会等の実施回数（累計）	2 回	11.2 回	23 回	25 回	91%
仕事と子育ての両立に向けた就職応援セミナー参加者数[水戸市在住者]（年間）	35 人 (2014 年)	69 人 (2016 年)	41 人 (2016 年)	120 人 (2019 年)	7%

項 目	達成度	評 価
ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民・事業所への研修会等の実施回数（累計）	A	積極的な研修会の企画立案により、期待値を大幅に上回る回数の研修会実施に至ったものと評価する。
仕事と子育ての両立に向けた就職応援セミナー参加者数[水戸市在住者]（年間）	C	期待値には達しなかったものの水戸公共職業安定所（ハローワーク水戸）主催による就職応援セミナーへの参加者は増加しており、引き続き、相互の連携を強化し、効果的な周知を行いながら事業を実施していく必要があるものと評価する。
2016（平成 28）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業労務改善の支援</li> <li>女性の活躍推進に向けた環境づくり</li> <li>育児休業の取得の促進</li> </ul>	<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「企業労務改善の支援」として、ワーク・ライフ・バランスの推進（家庭と仕事を両立できる環境づくり）を図るため、関係機関と連携を図り、市民・事業所などへの研修会等を実施した。</li> <li>「女性の活躍推進に向けた環境づくり」として、女性のための就業支援講座の開催などを実施するとともに、ハローワーク水戸と連携し、仕事と子育ての両立を目指すマザーズ就職応援セミナーを実施した。</li> </ul>	
	<p>2017（平成 29）年度以降の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業労務の改善に向け、県をはじめとした関係機関と連携しながら、市民・事業所への研修会等を実施するとともに、支援のあり方の検討を進める。</li> <li>ハローワーク水戸においては、仕事と子育ての両立に向けた就職応援セミナーの充実を図っているところであり、引き続き、連携してセミナーの開催等を実施する。</li> </ul>	
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=3/3</p>		

**〈基本目標Ⅳ 安全で安心、誰もが快適に暮らせるまちを創る〉**

<b>数値目標</b>	<b>(基準値)</b>		<b>(目標値)</b>
○生活環境の満足度	73.5%	→	78%

**具体的施策（１） 都市機能の集積と交通ネットワークの形成**

**重要業績評価指標（KPI）**

項目	基準値 (2014年度)	期待値 (2016年度)	実績値 (2016年度)	目標値 (2019年度)	達成状況 (2016年度)
中心市街地の歩行者通行量	109,800人	116,400人	100,297人	126,300人	-58%
路線バス利用者数(1日当たり)	29,656人	30,500人	29,830人 (2015年度)	32,600人	6%

項目	達成度	評価
中心市街地の歩行者通行量	D	まちなか居住の促進を図る子育て世帯のまちなか住替え支援制度をはじめ、商業施設等の立地促進事業を開始したほか、中心市街地における機能集積やまちなか交通体系の確立に向けた計画の策定、歩いて楽しめる道路空間の整備の推進など、様々な取組を進めたところであるが、開始して間もないこともあり、目に見える形での効果発現には至らなかったものと評価する。今後、計画に位置付けた事業の本格的な実施はもとより、既存事業のより効果的な推進に向けた実施手法の検討や見直しに取り組んでいく必要がある。
路線バス利用者数（1日当たり）	C	期待値には達しなかったもののバス利用者数は増えており、バス事業者との連携による、公共交通マップの作成や路線バス体験学習事業の実施などの取組の成果があったものと評価する。引き続き、利便性向上に取り組み、一層の利用拡大を図っていく必要がある。
<b>2016（平成28）年度の取組事業</b>		<b>取組の概要等</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか交通体系の確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか公共交通の利用促進</li> <li>自転車利用環境の整備</li> <li>新たなバリアフリー基本構想の策定及び施策の推進</li> </ul> </li> <li>地域公共交通の再編</li> <li>まちなか住替えの支援</li> <li>まちなか共同住宅の整備の促進</li> <li>都市機能の集約・再配置の推進</li> <li>水戸駅北口地区のまちづくりの推進</li> <li>新たな市民会館の整備</li> <li>泉町1丁目北地区市街地再開発事業等の推進</li> <li>歩いて楽しめる道路空間の整備</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新市民会館を主要施設とする泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業が、住宅・商業・業務といった都市機能の集積を目指す水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業がそれぞれ都市計画決定された。また、「都市機能の集約・再配置の推進」として、都市機能・居住の誘導に向け、水戸市立地適正化計画のうち都市機能誘導区域を設定した。さらに、「歩いて楽しめる道路空間の整備」として、南町地区において道路の美装化や無電柱化に向けた取組を行った。</li> <li>「地域公共交通の再編」として、バス事業者と連携し、市内を運行する路線バスの全ての系統を対象に運行データの分析を行い、路線の再編に向けた協議を進めた。あわせて、公共交通マップの作成や路線バス体験学習事業を実施するなど、公共交通の利用促進に取り組んだ。</li> </ul>
		<b>2017（平成29）年度以降の取組方針</b>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>水戸駅北口周辺地区のまちづくりや新たな市民会館の整備のほか、水戸市立地適正化計画に基づく都市機能の誘導を図るとともに、歩いて楽しめる道路空間の整備を推進する。</li> <li>地域公共交通の再編内容の具体化に向け、水戸市地域公共交通再編実施計画の策定に取り組み、公共交通の利便性を向上させることで、利用促進を図る。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b></p> <p>実施事業数/計画事業数=11/11</p>		

具体的施策（２） 既存ストック（住宅等）の再生、利活用

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値 (2016年度)	実績値 (2016年度)	目標値 (2019年度)	達成状況 (2016年度)
住宅リフォーム助成件数（累計）	—	276件	0件	690件	0%
JTI（移住・住みかえ支援機構）マイホーム借上げ制度の市内取扱店舗数（累計）	2件	3.6件	3件	6件	25%

項目	達成度	評価
住宅リフォーム助成件数（累計）	D	平成29年度からの実施に向け、民間住宅リフォーム助成制度の創設に向けた準備を進めたところであり、今後、支援制度の利用促進に向けた取組を積極的に展開していく必要があるものと評価する。
JTI（移住・住みかえ支援機構）マイホーム借上げ制度の市内取扱店舗数（累計）	B	期待値には達しなかったものの、市内取扱店舗数が増加していることから、官民協働による市民向けのマイホーム活用セミナーの開催による制度の周知を図ったこともその一因として効果があったものと評価する。
2016（平成28）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅リフォームの促進</li> <li>・住生活支援情報の提供</li> <li>・市営住宅の建替え及び長寿命化型改修の推進</li> <li>・民間住宅活用型市営住宅の供給</li> <li>・水戸駅北口駅前広場の再整備</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「住宅リフォームの促進」として、市内施工業者による住宅リフォームを行った者に対して、工事費用の一部を助成するため、平成29年度からの事業実施に向けて補助制度要項の制定を行った。</li> <li>・「住生活支援情報の提供」として、JTI（移住・住みかえ支援機構）マイホーム借上げ制度などの住生活支援に係る情報提供を図るため、住生活支援連絡会議の関連イベントとしてマイホーム活用セミナーを開催した。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数 = 5/5</p>		<p>2017（平成29）年度以降の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存ストックの活用や住宅リフォーム市場活性化による地域経済の振興に有効であることから、住宅リフォームの支援事業を実施するとともに、関係機関と連携した取組などを推進する。</li> <li>・空家の未然防止等、既存ストックの活用には有効であることから、住生活支援情報の提供として、マイホーム活用セミナーの開催などを継続して実施する。</li> </ul>

具体的施策（３） 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値 (2016年度)	実績値 (2016年度)	目標値 (2019年度)	達成状況 (2016年度)
水戸市安心・安全見守り隊参加団体・事業者数（累計）	88 団体等	101 団体等	122 団体等	120 団体等	106%
公的病院などの救急医療等に係る医師数	261 人	261 人	270 人	261 人	—

項目	達成度	評価
水戸市安心・安全見守り隊参加団体・事業者数（累計）	A	積極的な参加呼びかけ等を行ったことにより、目標値を上回る参加団体・事業者数を維持し、市民の安心安全を守る活動が活発に行われたことから、成果があったものと評価する。
公的病院などの救急医療等に係る医師数	A	市内公的医療機関への支援等の取組により、目標を上回る医師数を確保できたものと評価する。
2016（平成28）年度を取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活動の活性化</li> <li>・ボランティア団体，NPO等の活動の活性化</li> <li>・高齢者等の外出支援策の推進</li> <li>・災害時要配慮者支援の充実</li> <li>・地域包括システムの構築に向けた取組の推進</li> <li>・地域見守り・支えあいの推進</li> <li>・多世代交流の推進</li> <li>・緊急診療体制の充実</li> <li>・医療・福祉分野における人材の確保，雇用の促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・産婦人科等の医師の確保</li> <li>・看護師の確保</li> <li>・介護従事者の確保</li> <li>・保育士の確保</li> </ul> </li> <li>・生涯学習のしやすい環境づくりの推進</li> <li>・消費生活の向上</li> <li>・道路・公園ボランティアサポートの推進</li> </ul>		<p>【主な事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域見守り・支えあいの推進」として、高齢者、障害者や子どもなど支援を必要とする方が、住み慣れた場所で安心して暮らせるように、地域の団体や事業者等が行政と連携しながら、地域をさりげなく、ゆるやかに見守る水戸市安心・安全見守り隊の参加団体・事業者の増加に向けた取組を実施した。</li> <li>・「医療・福祉分野における人材の確保，雇用の促進」として、産婦人科等の医師の確保を図るため、県央・県北地域の周産期医療を担う地域周産期母子医療センター（水戸赤十字病院）に対する支援などを行うとともに、順天堂大学の協力を得て、水戸市休日夜間緊急診療所の小児科医の確保を図った。</li> </ul>
		2017（平成29）年度以降の取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体や事業者などが行政と連携しながら、地域をゆるやかに見守る水戸市安心・安全見守り隊の取組は、一定の効果を上げており、高齢者やその家族が安心して暮らせるよう、本事業を継続して実施するとともに、さらなる拡大に努める。</li> <li>・安定的な周産期医療体制の確保や水戸市休日夜間診療所運営に寄与する事業であることから、地域周産期母子医療センター（水戸赤十字病院）の支援とともに、大学病院等と連携した水戸市休日夜間緊急診療所の小児科医の確保に向けた取組を継続して実施するなど、専門性にも配慮しながら、医師等の確保を図る。</li> </ul>
<p>【総合戦略における事業の実施割合】</p> <p>実施事業数/計画事業数=15/15</p>		



具体的施策（４） 危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
自主防災組織による防災訓練等の参加者数	8,000人 (2012年度)	8,800人	13,264人	10,000人	263%
浸水被害箇所数	201か所	164か所	168か所	108か所	35%

項目	達成度	評価
自主防災組織による防災訓練等の参加者数	A	各地区の防災組織の活動支援をはじめ、いっせい防災訓練や各種防災教室を積極的に開催したことにより、市民の防災意識が高められ、目標を上回る参加者数となったものと評価する。
浸水被害箇所数	B	期待値には達しなかったものの、計画的な対策箇所の整備に取り組み、浸水被害の軽減が図られたものと評価する。
2016（平成28）年度取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民協働による地域防災の推進</li> <li>・災害時要配慮者支援の充実</li> <li>・次世代防災リーダーの育成</li> <li>・水戸市雨水排水施設整備プログラムの推進</li> <li>・民間住宅・建築物の耐震化等の促進</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民協働による地域防災の推進」として、各地区の防災活動費の支援や自主防災組織による防災訓練等の積極的な促進を図るとともに、地域等と連携し、いっせい防災訓練の実施や災害時生活用水協力井戸の拡充などを図った。</li> <li>・「水戸市雨水排水施設整備プログラムの推進」として、都市下水路や排水路、公共下水道、側溝、集水桝等の計画的な整備を推進するとともに、既存施設の機能確保に向けた取組などを実施した。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数 = 5/5</p>		
		2017（平成29）年度以降取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民協働による地域防災を推進するため、引き続き、自主防災組織による防災訓練等を積極的に促進するとともに、より実践的かつ効果的な訓練となるよう努め、参加者数の維持・向上を図る。</li> <li>・浸水被害の早期軽減・解消を図るため、より効率的、効果的な対策手法を検討し、都市下水路や排水路、公共下水道等の整備や既存施設の機能確保に向けた取組等を進め、総合的な雨水対策を推進する。</li> </ul>

具体的施策（５） 自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2016年度)	(2016年度)	(2019年度)	(2016年度)
茨城県央地域定住自立圏における連携事項数	—	4項目	4項目	10項目	40%
北関東中核都市連携会議における連携事業数	—	2事業	3事業	5事業	60%

項目	達成度	評価
茨城県央地域定住自立圏における連携事項数	A	産業振興，環境，教育の分野において広域的な連携を図ることができ，県央地域全体の活性化に寄与できたものと評価する。
北関東中核都市連携会議における連携事業数	A	北関東 400 kmブルベや物産フェアの開催など，期待値を上回る連携事業を進めたことにより，北関東圏域全体の魅力発信に寄与できたものと評価する。
2016（平成28）年度を取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県央地域定住自立圏の取組の推進</li> <li>北関東中核都市連携会議における連携事業の推進</li> <li>中核市移行に向けた取組の推進</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「茨城県央地域定住自立圏の取組の推進」について，県央地域首長懇話会を構成する水戸市と近隣8市町村において，平成28年7月に定住自立圏形成協定を締結した。さらに，定住自立圏共生ビジョン懇談会における協議を進め，平成28年11月に具体的な取組内容，スケジュール等を盛り込んだビジョンを策定した。</li> <li>「北関東中核都市連携会議における連携事業の推進」について，4市の魅力を広くPRするため，北関東400kmブルベや首都圏における物産フェアを開催するとともに，各市の台湾出身者でチームを編成し，台湾人目線で魅力あるスポットを抽出した旅行者等向けパンフレットを作成した。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数 = 3/3</p>		<p><b>2017（平成29）年度以降の取組方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水戸市と近隣8市町村において策定した茨城県央地域定住自立圏共生ビジョンに基づく各種事業を着実に実行するとともに，適切な進行管理と評価を行いながら，取組内容の充実を図るなど，持続可能な圏域づくりを推進する。</li> <li>北関東中核都市連携会議における連携事業として，引き続き，北関東400kmブルベや首都圏における物産フェアを開催するとともに，台湾人旅行者等向けパンフレットの活用などにより，インバウンド観光の推進を図る。</li> </ul>

## 5 水戸のまち創生リーディングプログラム

### 20～39歳の人口（生産年齢人口の概ね前半世代）

実績値 (2015年度)	推計値※ (2016年度)	実績値 (2016年度)	転入超過
59,845人	58,491人	58,834人	343人

国立社会保障・人口問題 研究所 推計値(2019年度)	目標 (2019年度)
約57,000人	60,000人



#### ※対象人口（20～39歳）の推計値

実績値（2015年度）	
年齢	人口
19歳	2,600人
20歳	2,356人
⋮	⋮
38歳	3,677人
39歳	3,954人



推計値（2016年度）	
年齢	人口
20歳	2,600人
21歳	2,356人
⋮	⋮
39歳	3,677人
40歳	3,954人

転入、転出等を考慮しない場合、対象人口は1,354人の減となるため、  
2016年度の推計値は「58,491人」となる。

項目	評価及び今後の取組方針
20～39歳の人口 (生産年齢人口の概ね前半世代)	<p>対象人口自体が減少する中において、その減少幅を抑えることができ、若い世代が多様に働ける場、活動できる場の創出に向けた本プログラムにおける取組が、その一因として寄与できたものと評価する。</p> <p>しかしながら、目標値の達成に向けては、若い世代の転入等をより一層推進していく必要があることから、雇用創出や流出抑制、移住・定住の促進を図るため、本取組を継続する。</p>

### 〈2016（平成28）年度における主な取組〉

#### 1 多様な雇用創出と就業支援

戦略的な取組	主な内容、実績等
産業交流機会の創出	・ビジネスマッチング会の開催に向けた検討
技術力、競争力強化・支援	・工業振興支援事業(交付件数1件)
商店街活性化の推進	・商店街活力アップ事業補助金(交付団体9団体) ・商店街活力向上事業補助金(交付団体3団体)
企業誘致の促進	・企業誘致活動の推進(誘致件数6件)
国際観光の推進	・国際観光の推進 (市内外国人宿泊者数32,743人)

戦略的な取組	主な内容, 実績等
観光特産品の魅力向上と観光産業の強化・育成	・優良観光土産品登録制度の活用 (新規登録 2 社 3 品, 再登録 8 社 13 品)
コンベンション誘致活動の推進・強化	・コンベンション誘致推進事業の充実 (誘致・支援数 125 件)
6 次産業化の推進	・産地改革チャレンジ事業
農産物のブランド化の推進	・水戸の梅産地づくり事業 (梅果樹棚等整備 0.35ha)
地産地消の推進	・地場農産物利用促進事業 (「水戸美味」登録店 62 件)
認定農業者等担い手の確保・育成	・青年就農給付金支援事業 (交付件数 新規就農者 24 名) ・就農スタートアップ支援制度 (交付件数 新規就農者 3 組)
女性の活躍推進に向けた環境づくり	・女性活躍推進事業
医療・福祉分野における人材の確保, 雇用の促進	・介護職員処遇改善加算の給付 ・周産期及び婦人科医療従事医師雇用補助 ・休日夜間緊急診療所小児科医師確保 ・看護師の養成, 確保 ・保育サービスの充実

## 2 自主的な起業への支援

戦略的な取組	主な内容, 実績等
創業支援の充実 (創業支援事業計画に基づくサポート体制の強化, 創業支援セミナーの開催等)	・創業支援事業 (創業事業者数 58 人)
ベンチャービジネスの育成・支援 (コワーキングスペースの運営等)	・コワーキングスペースの運営 (登録者 5 人, 利用者 302 人)
店舗開業・出店の推進 (空き店舗対策助成制度による誘致施策)	・空き店舗対策事業 (交付件数 7 件)
産学官連携による産業の活性化 (新製品・新技術開発の支援)	・新ビジネス創造推進事業 (セミナー 1 回開催)
遊休不動産を活用したにぎわいづくりの推進 (水戸まちなかりノベーション事業)	・中心市街地のエリアごとの定量的・定性的な調査・分析 ・ビジネスプランコンテスト開催
既存事業者の事業拡充等への支援	・中心市街地における商業施設等の立地促進 (交付件数 2 件)

## 3 創造的な活動への支援

戦略的な取組	主な内容
ボランティア団体, NPO 等の活動の活性化	・協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」事業 ・こみっとフェスティバル事業 (来場者数 3,500 人)
まちなかイベントの開催	・水戸まちなかフェスティバル事業 (来場者数 93,000 人, イベント数: 70 件)
市民主体の芸術文化活動の促進	・水戸市芸術祭 (9 部門 22 事業実施, 参加者数: 35,005 人)